

NO 15	(仮称)京都水族館計画	オリックス不動産株式会社
-------	-------------	--------------

提案概要
 京都市下京区の梅小路公園の一部等を借地して、民間が行う水族館建設プロジェクト。環境教育の訴求効果の高い施設用途をベースに、ハード面においては人工海水システムなど、最新の水処理技術を採用することによる実効性の高い省CO₂技術の採用、ソフト面では体験学習や環境教育プログラムの展開を図る。さらに、京都市と連携しつつ、環境モデル都市京都市にふさわしい「環境パビリオン」としての施設を目指す。

事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅)
	建物名称	(仮称)京都水族館	所在地	京都府京都市
	用途	集会所(水族館)	延床面積	約12,000 m ²
	設計者	株式会社東洋設計事務所 大成建設株式会社 設計共同企業体	施工者	(未定)
	事業期間	平成21年度～平成23年度		

概評
 多数の集客があり、体験教育的機能も有する水族館を環境パビリオン化し、水族館ならではの様々な省CO₂技術を導入した意欲的提案として評価する。自然光利用などのパンプ技術や、高効率チラーと組み合わせたイルカプールの蓄熱利用、太陽光発電などのアクティブ技術など、実効性の高い省CO₂技術を導入している。また、建築計画以外の工夫でも、人工海水製造等による海水輸送エネルギーの削減など、新たな技術にも取り組んでいる。省CO₂技術や効果の見える化による啓蒙・啓発が提案されており、環境モデル都市である京都市との連携を図り、大規模集客施設から省エネ・省CO₂に関する多様な情報発信が行われることに期待する。

